

2022年 ミニ町勢要覧



エドヒガン 諏訪神社（高橋）

大口町内には、100年以上前から咲いている桜があります。「八佐の津島社」、「高橋の諏訪神社」及び「新田」にある桜です。この3本をDNA鑑定したところ「エドヒガン」の分類でした。さらに、調査機関の主要品種データベースに同じDNAの登録がなく、「八佐」と「高橋」の桜は遺伝的に近縁であること等も判明しました。「エドヒガン」は、「ソメイヨシノ」に比べて寿命が長いことが特長です。大口町では、これら「大口町古来種の桜」の中でも、比較的生命力の強い諏訪神社の桜から採取した細胞を培養し、クローンを作り苗木を育てています。この桜を「おおぐち観鋭桜」と命名し、町内に植樹をおこなっています。



大口町長
鈴木雅博

光陰矢の如し。町政の舵取りを任せていただいた2期8年を振り返った想いです。

50年後の将来を見据えた大口町の発展に寄与すべく、日々、邁進してまいりました。

この間の令和3年には、平成28年度にスタートした「第7次大口町総合計画」の中間見直しを行い、残す5年の再スタートをきったところです。

これまで大口町は、財政的に恵まれたまちであると言われてきましたが、法人町民税(法人税割)の税率引き下げによる影響は大きく、町政運営は厳しいものとなっています。

それでも先人が知恵と努力で築いてこられた、この町の原動力である産業を衰退させることは許されません。まずは、町内の道路等のインフラ整備に積極的な投資をし、本町に拠点を構え、町の発展に寄与していただいた企業の皆様を支援すると同時に、さらなる企業誘致を進め、『活力ある産業づくり』に努めてまいります。

本町の人口については、今しばらく増加傾向にあると見込んでいます。これは、シティプロモーション事業をはじめとした、本町の移住・定住支援策や保育施設の充実、奨学金助成など、子育てしやすい環境整備を行った成果であると考えます。若い世代の皆様が安

心して子どもを産み育て、本町に住み続けていただけるよう、引き続き支援の充実に取り組んでまいります。

大口町の子どもは、大口町の『宝』であります。子どもたちの権利を保障した、子どもにやさしいまちづくりを構築するため、令和4年度から「こども条例」の制定に向けた調査検討を進めます。

さて、新型コロナウイルス感染症は我々の生活に大きな影響を及ぼし、これまでの生活様式や慣習の見直しを余儀なくされることとなりました。ウイルスと共存するための暮らしの変化は、新たな生活への1歩、始まりであると考えます。この変化の時を好機と捉え、より豊かな暮らしの実現と大口町の発展のため、精一杯、施策に取り組む所存です。

大口町は、令和4年4月1日に町制施行60周年の節目を迎えます。

初代、社本鋭郎町長率いる町民の皆さんが、強い想いで自主自立の道を進められたように、我々も今、60年前の原点に立ち返り、先人から受け継いだ『郷土おおぐち』を、またその先の60年後のおおぐちに引き継げるよう、まちづくりの担い手である住民の皆様や様々な企業・団体の皆様方と力を合わせ、努力してまいります。



町の沿革

明治 22 (1889) 年 10 月の町村制により、富成村、小口村、太田村の 3 か村ができました。明治 28 (1895) 年に小口村の余野地区が柏森村（現扶桑町柏森）に合併されましたが、明治 39 (1906) 年には、富成村、小口村、太田村の 3 か村と、柏森村の一部であった余野が合併し、現在の大口町の基礎である大口村が誕生しました。

昭和 37 (1962) 年 4 月には、大口村から大口町になりました。

産業では純農村だった町が、昭和 30 年代から始まった企業誘致策により、現在では、
 ※ 約 680 社の企業が立地し、多くの人が働くまでに発展しています。

※ 令和 3 年度 法人町民税均等割納税義務者数

自然

町の位置及び地質・気象

大口町は愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置する「木の葉」の形をしたまちです。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積は13.61平方キロメートル。海拔40メートルから海拔15メートルのゆるやかな傾斜になっており、地質は木曽川からの土砂の堆積による沖積層をなし、耕作に適したものとなっています。

大口町は、年間を通じて比較的温暖で降雨量も適量といえます。

しかし、冬場は冷たく乾いた北西風「伊吹おろし」が吹くため、気温以上の寒さを体感します。



町の木 もくせい



町の花 さくら

作物・特産品



1. 桜酵母五条川桜おおぐち 2. ジェラート（麦茶・桜） 3. 酒粕ブッセ おおぐち酒浪漫 4. 麦茶五条川
5. 奈良漬 6. 桜口（おおぐち）サブレ 7. さくらあられ・麦茶あられ 8. 山姫五穀サブレ
1・3・5・6・8は、ふるさと寄附の返礼品としても活用しています。

六条大麦 愛知県内では、丹羽郡のみの生産作物。美味しい麦茶などに変身します。

桜酵母 日本桜の名所百選「五条川桜並木」。10年探しても見つからないこともあるという酵母が、五条川に咲く1000個の桜の花から1個だけ採取できた奇跡の酵母。桜酵母を使って日本酒造りに成功し、他にも漬物やブッセなどの特産品に用いられています。

平成28年には、新たに、桜酵母を使ったジェラートやあられなどの特産品が仲間入りをしました。

文化 史跡



はっけんしゃ

八劔社拝殿（堀尾跡）

幕末の文久3(1863)年に再築されたもので、明治35(1902)年に修理を受けていますが当初の部材を比較的に残しています。彫刻は妻側に竜と唐獅子、桁側に狩獵図や騎旅図など何かの古事・物語の状景が展開されています。



おぐち

小口城址公園（城屋敷）

小口城の歴史的な移り変わりや出土品などを紹介する「展示棟」、小口城からの眺望を再現する「物見櫓」、歴史的な情緒あふれる「門・堀・橋」が皆さんを戦国時代へと誘います。



にしよの

仁所野遺跡（下小口）

白山神社境内を中心に弥生時代から古墳時代の墳墓群があり、昭和35(1960)年6月8日に大口町指定文化財第1号となりました。



鑄鉄地蔵菩薩立像（汗かき地蔵）

長松寺のご本尊で県の指定文化財です。世の中に異変がある時や、信者が災難にあつた時には必ず多くの汗をかくといわれています。



とくりんじ

徳林寺山門・中門（余野）

山門は、犬山城の第一黒門を明治9(1876)年に移築したもの。山門の奥に見える中門は文明7(1475)年、小口城主織田広近によって建立されたと伝えられています。

松江市・大口市姉妹都市提携

松江城と城下町を整備し、「松江開府の祖」と称される堀尾吉晴公の生誕地が大口市という縁で、平成27（2015）年8月29日に姉妹都市提携を結びました。
400有余年にわたる堀尾吉晴公との縁を引き継ぎ、両市町の行政間における情報交流や施策交流、民間交流のさらなる拡大を進めています。



松江城天守国宝指定5周年記念式典

令和2（2020）年に松江城天守が国宝指定されて5周年を迎え、記念式典が執り行われました。姉妹都市提携もともに5周年を迎え、松江市と大口市の「縁」が永く続くよう誓い合いました。



「おおぐち観鋭桜」の植樹

姉妹都市提携5周年の記念として、「おおぐち観鋭桜」を松江市旧床几山配水池に植樹しました。ほかにも交流の証として松江市内に「おおぐち観鋭桜」が植樹されています。



修学旅行

大口市の3年生が修学旅行で松江市に出かけ、姉妹都市のきっかけとなった堀尾吉晴公が築城した松江城を見学しました。

おおぐち観鋭桜…大口市の諏訪神社にある古来種エドヒガンをクローン技術により培養した桜。五条川堤の桜並木の植樹に力を注いだ初代町長「社本鋭郎氏」の一字を頂き名が付けられました。



堀尾氏邸宅跡（堀尾跡）

堀尾吉晴公をはじめとした堀尾氏累代の邸宅跡。堀尾氏は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑に仕え、出雲・隠岐両国24万石を領したといわれています。



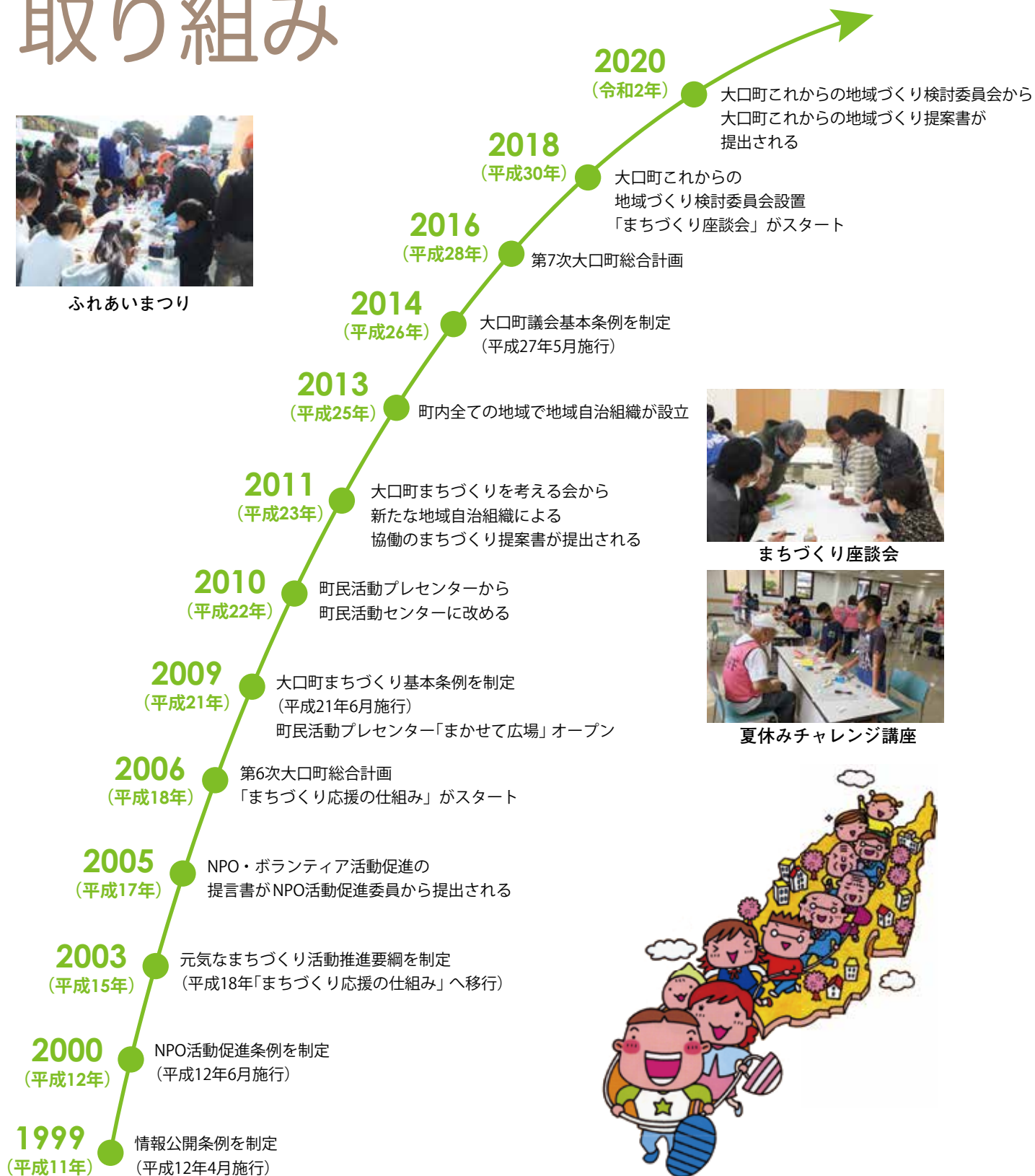
堀尾跡公園（堀尾跡）

堀尾金助とその母の「裁断橋物語」をテーマに、子を想う母の心を後世に伝える歴史公園です。
※金助は堀尾吉晴公の長男といわれています。

「協働」への 取り組み



ふれあいまつり





北保育園



子育て支援センター



口中学校



小口城址公園



西保育園



オークマグラウンド
(大口町総合運動場)



オークマ温水プール (大口町温水プール)



白山ふれあいの森



多世代が集う憩い広場



ここが
大口町



大口交番



大



南小学校



堀尾跡公園



健康文化センター
(トレーニングセンター 5F)



(大口町歴史民俗資料館 3F)

まちづくり基本条例の概要

大口町まちづくり基本条例は、大口町のまちづくりの基本的な理念やルールなどを明らかにしたもので、地域の皆さんをはじめとするまちづくりの担い手と、町議会、行政が一体となって「参加」と「協働」のまちづくりを進める基本規範となるものです。

「まちづくり基本条例」6つの制度

意見や提案を町政へ

① まちづくり提案会議

みなさんからのまちづくり提案を、提案者と一緒になって考えます。

④ 出前対話

まちづくりの情報を共有

みなさんの要望に応じて、町の事業などの説明や意見交換を行います。

② 政策検討会議

重要な条例や計画等を定めるときは、みなさんに説明し、直接、意見や提案を伺います。

⑤ 地域懇談会

夢を描き語り合う

まちの将来像やまちづくりの方針について、テーマを設けて、懇談する機会をつくります。

③ 意見公募手続

重要な条例や計画等を定めるときは、事前に案を公表し、メール等で意見や提案を伺います。

⑥ 住民投票制度

意思を直接示す

まちの将来に大きな影響を及ぼすような重大な案件の賛否を、「住民投票」で意思表示することができます。

みんなで進める自立と共助のまちづくり

みんなで進める 自立と共助のまちづくり

基本目標①

次代を担う子ども・若者の育成

子育てや子ども・若者を地域全体で見守り育むことで、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるとともに、学校・地域・家庭の連携による教育力の向

上を通じて、子どもたちの確かな学力や個性を伸ばし、自立して生き抜く力を育むことで、大口町の次代を担う人づくりを推進します。

基本目標②

健康で安心な暮らし

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れたこの大口町でいきいきと自分らしく生活できるように、ライフステージに応じた健康づくりに取り組むことができる環境を整えるとともに、医療や福祉、介護等の関係機関との連携による包括的な支援体制の構築と、適切な医療・

介護サービスの提供に努めます。また、身近な暮らしにおける支え合い・助け合いの地域福祉を充実させるとともに、各種社会保障制度の啓発と適正な運用を進めることで、安心して暮らし続けられる環境づくりを推進します。

基本目標③

災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する

災害や犯罪、交通事故などから住民の大切な生命や財産を守るために、災害に強い都市基盤の整備を進めるとともに、関係者間の連携を通じて地域の自主的な防災・防犯・交通安全活動の一層の充実を図り、安心して暮らせる安全なまちづくりを進めます。

また、豊かで快適な日常生活や地域経済の発展を支えるために、効率性や安全性、環境に配慮した道路環境の整備や、既存ストックを活かした計画的かつ魅力的な市街地形成、安全・安心な住まいの確保、衛生的で良好な水辺環境づくりを進めます。

基本目標④

人の知恵・技・情報が活きる元氣「コミュニティ」を創造する

より多くの住民が、地域での居場所や仲間を得て、生涯を通じて生きがいを持って暮らすことができるように、住民の主体的な生涯学習・スポーツ活動の充実に努めるとともに、地域に根ざした歴史・文化資源の保全及び次世代への継承、図書館を核としたひと・モノ・情報・文

化の交流などを推進します。また、性別や国籍、文化の違いを問わず、誰もが地域社会の一員として互いに尊重し協力し合えるように、男女共同参画や国際交流、多文化共生を推進し、多様性を認め合える活力あるコミュニティの創造に努めます。

基本目標⑤

未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する

未来に向けて、豊かな自然環境や快適な住環境を継承していくために、ごみの減量やリサイクル、環境衛生の推進、生物多様性の保全などにより、環境負荷の少ない循環型地域社会の形成に努めるとともに、身近な農地や河川、公園、緑地などの自然環境の保全、整備により、うるおいのあるまちづくりを進めます。

ます。

また、本町の成長力の源となる農業・商業・工業のバランスのとれた地域産業の活性化に向けて、産業集積や交通利便性などの強みを活かした新たな産業の誘致や育成、既存企業の高度化や人材育成・確保等を進め、合わせて安定した雇用機会の確保・創出に努めます。

※人（住民）をまちの「財」（「財」として捉え、「人材」を「人財」と表現しています。

基本目標⑥

持続可能な地域経営

将来世代に負担を残すことのない持続可能な地域経営を推進するために、行政区や地域自治組織の組織・活動の強化・充実を図るとともに、まちづくり団体やNPO等の活動支援などにより、自立と協働のまちづくりを一層推進します。

また、住民の満足度の高い効

率的かつ効果的な行政経営と健全な財政運営に向けて、継続的な行政改革と民間活力の積極的な導入に努めるとともに、多様な媒体や手段による広報・広聴の充実、情報公開と個人情報保護の適切な運用等により、住民の意向を反映した透明性の高い施策・事業を推進します。

まちづくり戦略

人口減少時代・超高齢社会を迎え、本町が将来にわたって持続的に発展していく上で今なすべきこととして必要不可欠な3つのテーマを「まちづくり戦略」として設定しました。様々な分野に横断する「まちづくり戦略」に基づき、相乗効果を発揮させながら各施策・事業を実施していきます。

若い世代の定住・子育て支援

バランスある人口構成を持続させていくための戦略

- 実施方針1 子育て世代の移住・定住の促進
- 実施方針2 子どもを産み育てるサポート体制の充実
- 実施方針3 将来に夢が持てる確かな学びの推進

健やかな暮らしづくり

安心・幸せな健康長寿社会形成のための戦略

- 実施方針1 健康寿命の延伸
- 実施方針2 住み慣れた地域で安心して住み続けられる地域福祉活動の推進
- 実施方針3 持続可能な地域経営・行政経営の推進

活力ある産業づくり

将来世代の経済的な豊かさのための戦略

- 実施方針1 既存産業の売上アップ
- 実施方針2 新たな企業の立地促進
- 実施方針3 優秀な労働力の持続的な確保

整備中の役場南ひろば（令和4年11月完成予定）



企画・編集／大口町総務部秘書広報室 発行／令和4(2022)年3月
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小口七丁目155番地 TEL／0587-95-1616
ホームページ <https://www.town.oguchi.lg.jp/>
Eメール kouhou@town.oguchi.lg.jp